

## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月7日

上場会社名 株式会社ニッポン 上場取引所 東  
 コード番号 2001 URL <https://www.nippon.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前鶴 俊哉  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 福山 幸一郎 TEL 03-3511-5307  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月8日 配当支払開始日 2023年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	198,973	12.7	11,035	89.3	12,544	73.9	8,489	71.1
2023年3月期第2四半期	176,488	12.0	5,829	△0.7	7,211	△2.0	4,963	△5.2

（注）包括利益 2024年3月期第2四半期 17,513百万円（126.7%） 2023年3月期第2四半期 7,725百万円（26.8%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	108.90	95.11
2023年3月期第2四半期	64.17	56.00

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	365,497	208,398	55.9
2023年3月期	344,606	192,613	54.8

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 204,342百万円 2023年3月期 188,687百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	19.00	—	21.00	40.00
2024年3月期	—	28.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	28.00	56.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	400,000	9.4	17,500	42.4	20,000	35.0	14,500	41.3	186.00

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	78,824,009株	2023年3月期	78,824,009株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	847,801株	2023年3月期	860,850株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	77,956,154株	2023年3月期2Q	77,343,245株

(注) 期末自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式（2024年3月期2Q 240,000株）が含まれております。また、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2024年3月期2Q 80,000株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比
売上高	176,488	198,973	22,484	112.7%
営業利益	5,829	11,035	5,205	189.3%
経常利益	7,211	12,544	5,332	173.9%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	4,963	8,489	3,526	171.1%

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、行動制限の緩和による個人消費及びインバウンド消費の回復が続きました。また、原材料・エネルギー価格の高騰により製造・輸送コストは依然として高止まりの状況にあるものの、ロシアによるウクライナ侵攻後に高騰した穀物相場は、沈静化に向かいつつあります。不安定な国際情勢、円安が続く為替相場等、依然として先行き不透明な状況が続いておりますが、経済活動の正常化に伴い、景気の拡大に向けた明るい兆候も徐々に現れ始めました。

このような状況下、当社グループは経営理念「人々のウェルビーイング（幸せ・健康・笑顔）を追求し、持続可能な社会の実現に貢献します」のもと、M&Aや事業提携を含めた国内外での積極的な投資を通じて事業基盤の強化並びに事業領域の拡大を図るとともに、企業としての社会的責任を果たすため、環境負荷低減や人的資本投資等のサステナビリティ課題への取り組みを強化し、企業価値の持続的な向上に努めました。

本年5月には、北米でのビジネス拡大のため米国の製粉会社Utah Flour Milling, LLCへ出資した他、国内では、コスト競争力の向上並びに収益基盤強化を図るため、以前から取り組んでいる知多市新製粉工場の建設や、神戸甲南工場の設備増強工事をはじめとした投資を着実に進めております。

また、本年9月には、再生可能エネルギーの利用を推進するべく、NIPPON(Thailand)CO., Ltd.のプレミックス並びに冷凍生地工場に太陽光発電設備を導入いたしました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、個人消費及びインバウンド消費の回復等による需要の増加に加え、原材料及び各種コストの上昇に伴い実施した価格改定により、売上高は1,989億7千3百万円（前年同期比112.7%）となりました。利益面では、原材料及び各種コストの上昇や拡売のための戦略コストが増加したものの、冷凍食品類の販売数量伸長、中食事業の堅調な推移等により、営業利益は110億3千5百万円（同189.3%）、経常利益は125億4千4百万円（同173.9%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は84億8千9百万円（同171.1%）となりました。

なお、当期の中間配当につきましては、足元の業績が好調に推移していることから、前回発表予想より8円増配の1株当たり28円とさせていただきます。

事業別の状況は次のとおりです。

## ①製粉事業

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比
売上高	56,149	62,711	6,562	111.7%
営業利益	3,425	4,563	1,138	133.2%

製粉事業については、小麦粉の価格改定並びに副製品のふすまの販売価格の堅調な推移等により、売上高は前年同期を上回りました。

なお、本年4月に外国産小麦の政府売渡価格が5銘柄平均（税込価格）で5.8%引き上げられたことに伴い、本年6月より業務用小麦粉の販売価格を改定しております。

以上により、製粉事業の売上高は627億1千1百万円（前年同期比111.7%）、営業利益は45億6千3百万円（同133.2%）となりました。

## ②食品事業

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比
売上高	100,364	113,107	12,743	112.7%
営業利益	2,041	5,488	3,446	268.9%

業務用食品については、飲食店を中心に個人消費及びインバウンド消費の回復等により需要が増加したことから、売上高は前年同期を上回りました。

家庭用食品については、原材料費、物流費並びにエネルギー価格等のコスト上昇に伴い、昨年より継続して価格改定を実施したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

冷凍食品類については、時短・簡便ニーズの高まりを受けて1食完結型の「よくばり」シリーズ、節約志向を受けて大容量の「Big」シリーズ等の家庭用冷凍食品の販売が好調に推移し、加えて価格改定を実施したことから、売上高は前年同期を上回りました。

中食事業については、人流の回復に伴い需要が伸長するとともに、商品の販売価格を改定したことから、売上高は前年同期を上回りました。

以上により、食品事業の売上高は1,131億7百万円（前年同期比112.7%）、営業利益は54億8千8百万円（同268.9%）となりました。

## ③その他事業

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比
売上高	19,975	23,154	3,178	115.9%
営業利益	333	990	656	297.0%

ペットフード事業については、出荷増に加えて原材料等のコスト上昇に伴う価格改定を実施したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

外食事業については、人流の回復に伴う需要の増加に加えて販売が好調に推移したことから、売上高は前年同期を上回りました。

以上により、その他事業の売上高は231億5千4百万円（前年同期比115.9%）、営業利益は9億9千万円（同297.0%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

	2023年3月期	2023年9月期	増減額
流動資産	143,021	148,328	5,306
固定資産	201,557	217,149	15,591
繰延資産	26	19	△6
資産 合計	344,606	365,497	20,890
流動負債	78,613	82,905	4,292
固定負債	73,378	74,192	813
負債 合計	151,992	157,098	5,105
純資産	192,613	208,398	15,785
負債・純資産 合計	344,606	365,497	20,890

当第2四半期連結会計期間末の総資産残高は、前連結会計年度末に比べ208億9千万円増加し、3,654億9千7百万円となりました。この主な要因は、投資有価証券が136億5千3百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が62億4千万円、有形固定資産が21億7千7百万円、原材料及び貯蔵品が17億7千5百万円増加したこと、及び現金及び預金が35億3千4百万円減少したことによるものです。

負債の残高は、前連結会計年度末に比べ51億5百万円増加し、1,570億9千8百万円となりました。この主な要因は、その他の固定負債が27億2千8百万円、支払手形及び買掛金が21億1千2百万円増加したことによるものです。

純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ157億8千5百万円増加し、2,083億9千8百万円となりました。この主な要因は、その他有価証券評価差額金が77億1千9百万円、利益剰余金が68億4千9百万円、為替換算調整勘定が10億6百万円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,620	7,293	3,673
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,730	△9,077	△6,346
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,869	△3,330	1,539
現金及び現金同等物に係る換算差額	520	305	△215
現金及び現金同等物の増減額	△3,459	△4,809	△1,350
現金及び現金同等物の期末残高	27,756	28,348	592

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ48億9百万円減少し、283億4千8百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、72億9千3百万円の収入となりました（前年同期は36億2千万円の収入）。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益が121億9千3百万円、減価償却費が48億9千6百万円、仕入債務の増加額が19億6百万円となったこと、ならびに売上債権の増加額が60億7千5百万円、棚卸資産の増加額が26億9千2百万円、法人税等の支払額が26億6百万円となったことによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、90億7千7百万円の支出となりました（前年同期は27億3千万円の支出）。この主な要因は、固定資産の取得による支出が62億8千2百万円、関係会社株式の取得による支出が34億2百万円あったことによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、33億3千万円の支出となりました（前年同期は48億6千9百万円の支出）。この主な要因は、長期借入金の返済による支出が21億2千7百万円、配当金の支払額が16億4千万円あったことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、長期ビジョンとして売上高5,000億円・営業利益250億円の達成を掲げており、その実現に向けて、基盤事業である製粉・食品素材・加工食品については、ブランド力の強化や差別化した商品の展開、生産能力の増強などにより成長を図り、成長事業である冷凍食品・中食・ヘルスケア・海外事業については、今後の重点領域と位置付けて供給拠点の整備・拡充や事業の取得・提携を推進することにより、売上・収益の向上を図ります。

また、経営理念を念頭に、気候変動などの環境問題、食資源の有効活用、人口問題、健康寿命の延伸などの社会的な課題に真摯に向き合い、更なる企業価値の向上に努めてまいります。

2024年3月期の通期連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績及び第3四半期以降の見通し等を踏まえ、上方修正しました。また、期末配当予想を前回発表予想より8円増配し、1株当たり28円といたしました。これにより、年間配当金は中間配当金とあわせて1株当たり56円となり、前期実績から16円の増配見込みとなります。

詳細は、本日（2023年11月7日）公表いたしました「2024年3月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正、並びに剰余金の配当（中間配当）及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2024年3月期通期連結業績予想数値の修正（2023年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	387,000	12,500	14,600	10,800	138.60
今回修正予想 (B)	400,000	17,500	20,000	14,500	186.00
増減額 (B - A)	13,000	5,000	5,400	3,700	
増減率 (%)	3.4	40.0	37.0	34.3	
(参考) 前期実績 (2023年3月期)	365,525	12,288	14,816	10,260	132.16

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	36,815	33,280
受取手形、売掛金及び契約資産	54,119	60,360
商品及び製品	20,918	22,047
仕掛品	222	172
原材料及び貯蔵品	26,400	28,176
その他	4,607	4,344
貸倒引当金	△61	△52
流動資産合計	143,021	148,328
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	46,745	47,550
機械装置及び運搬具（純額）	21,170	21,501
土地	41,027	41,238
建設仮勘定	1,741	2,140
その他（純額）	2,782	3,213
有形固定資産合計	113,467	115,645
無形固定資産		
のれん	1,179	1,085
その他	996	1,483
無形固定資産合計	2,175	2,568
投資その他の資産		
投資有価証券	77,254	90,907
その他	8,979	8,338
貸倒引当金	△320	△311
投資その他の資産合計	85,914	98,935
固定資産合計	201,557	217,149
繰延資産	26	19
資産合計	344,606	365,497



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,669	38,782
短期借入金	17,572	17,799
1年内償還予定の社債	221	306
未払法人税等	2,645	3,271
賞与引当金	764	780
その他	20,740	21,965
流動負債合計	78,613	82,905
固定負債		
社債	128	—
転換社債型新株予約権付社債	25,038	25,029
長期借入金	21,175	19,480
退職給付に係る負債	3,881	3,841
役員退職慰労引当金	406	343
役員株式給付引当金	—	20
その他	22,748	25,477
固定負債合計	73,378	74,192
負債合計	151,992	157,098
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,240	12,240
資本剰余金	9,693	9,761
利益剰余金	128,965	135,815
自己株式	△1,287	△1,317
株主資本合計	149,612	156,500
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,462	44,182
繰延ヘッジ損益	△23	26
為替換算調整勘定	2,161	3,168
退職給付に係る調整累計額	473	464
その他の包括利益累計額合計	39,074	47,842
新株予約権	226	221
非支配株主持分	3,699	3,834
純資産合計	192,613	208,398
負債純資産合計	344,606	365,497

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	176,488	198,973
売上原価	137,551	152,588
売上総利益	38,936	46,384
販売費及び一般管理費	33,107	35,348
営業利益	5,829	11,035
営業外収益		
受取利息	33	34
受取配当金	1,033	1,028
その他	869	627
営業外収益合計	1,936	1,691
営業外費用		
支払利息	103	94
株式交換関連費用	222	—
その他	228	88
営業外費用合計	554	182
経常利益	7,211	12,544
特別利益		
固定資産売却益	9	42
投資有価証券売却益	118	13
特別利益合計	127	55
特別損失		
固定資産除売却損	53	79
関係会社株式売却損	—	239
減損損失	—	25
投資有価証券評価損	81	46
その他	3	15
特別損失合計	138	405
税金等調整前四半期純利益	7,200	12,193
法人税、住民税及び事業税	1,901	3,199
法人税等調整額	316	348
法人税等合計	2,218	3,547
四半期純利益	4,982	8,646
非支配株主に帰属する四半期純利益	19	156
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,963	8,489

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	4,982	8,646
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,293	7,802
繰延ヘッジ損益	△26	50
為替換算調整勘定	1,508	947
退職給付に係る調整額	△48	△9
持分法適用会社に対する持分相当額	16	76
その他の包括利益合計	2,743	8,867
四半期包括利益	7,725	17,513
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,698	17,335
非支配株主に係る四半期包括利益	27	178

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,200	12,193
減価償却費	4,876	4,896
関係会社株式売却損	—	239
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△18	△19
減損損失	—	25
受取利息及び受取配当金	△1,066	△1,063
支払利息	103	94
投資有価証券売却損益 (△は益)	△127	△36
投資有価証券評価損益 (△は益)	81	46
持分法による投資損益 (△は益)	△188	△190
為替差損益 (△は益)	△154	△53
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△15
固定資産除却損	44	56
売上債権の増減額 (△は増加)	673	△6,075
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△9,458	△2,692
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,319	1,906
その他	1,268	△431
小計	4,553	8,878
利息及び配当金の受取額	1,086	1,108
利息の支払額	△95	△86
法人税等の支払額	△1,922	△2,606
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,620	7,293
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	△1	△1,055
有価証券の取得による支出	—	△1,000
有価証券の売却及び償還による収入	—	1,016
投資有価証券の取得による支出	△1,054	△132
投資有価証券の売却による収入	1,333	127
関係会社株式の取得による支出	—	△3,402
関係会社株式の売却による収入	—	907
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△295	—
固定資産の取得による支出	△3,120	△6,282
固定資産の売却による収入	405	384
貸付けによる支出	—	△50
貸付金の回収による収入	5	6
その他	△2	402
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,730	△9,077

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,761	659
長期借入れによる収入	360	—
長期借入金の返済による支出	△1,089	△2,127
社債の償還による支出	△48	△43
自己株式の取得による支出	△1	△447
自己株式の売却による収入	0	446
リース債務の返済による支出	△152	△152
配当金の支払額	△1,539	△1,640
非支配株主への配当金の支払額	△19	△37
その他	△619	11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,869	△3,330
現金及び現金同等物に係る換算差額	520	305
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,459	△4,809
現金及び現金同等物の期首残高	31,215	33,157
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,756	28,348

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製粉事業	食品事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	56,149	100,341	156,490	19,496	175,986	—	175,986
その他の収益	—	23	23	478	501	—	501
外部顧客への売上高	56,149	100,364	156,513	19,975	176,488	—	176,488
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,248	344	1,593	998	2,591	△2,591	—
計	57,398	100,708	158,106	20,973	179,080	△2,591	176,488
セグメント利益	3,425	2,041	5,466	333	5,800	29	5,829

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、健康食品類、エンジニアリング、外食、不動産賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額29百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製粉事業	食品事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じ る収益	62,711	113,084	175,795	22,675	198,471	—	198,471
その他の収益	—	23	23	478	501	—	501
外部顧客への売上高	62,711	113,107	175,818	23,154	198,973	—	198,973
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,411	597	2,008	3,097	5,106	△5,106	—
計	64,122	113,704	177,827	26,251	204,079	△5,106	198,973
セグメント利益	4,563	5,488	10,052	990	11,042	△6	11,035

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、健康食品類、エンジニアリング、外食、不動産賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△6百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」セグメントにおいて、投資額の回収が見込めなくなった固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては25百万円であります。